



奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 22

ご挨拶

教授 緒方奈保子



皆様いかがお過ごしでしょうか？

相変わらず COVID-19 の報道は毎日ありますが、患者数は激減しているようです（いまこの原稿を書いている現時点では…）。やっぱりワクチン接種の効果でしょうか？今後また第6波が来るかもしれませんが、新たに岸田内閣が発足し、新たな日常への期待が高まっています。そして3回目のワクチン接種も始まるのでしょうかね。

コロナ禍のなか、リモート参加の会議や学会、勉強会にも随分慣れてきましたし、それなりに便利ですから今後もこの形は残るでしょう。しかし 10 月末に福岡で開催された日本臨床眼科学会はハイブリッドではあったものの、今年リアルで参加できた数少ない学会の1つだったのではないのでしょうか？坂本泰二教授のご英断に感謝です。久しぶりに会場で直接に講演を聞き、話もでき、勉強し(たような気分)、とても新鮮でした。やっぱりリアルが良いと思うのは古い人間でしょうか？

昨年、時代に遅れじと、3D手術システムを導入したものの、なかなか業者さんが病院に立ち入れなくて、遅ればせながらの導入になりました。手術件数も元に戻ってきていますので、もっと活用しなくては！

緊急事態宣言は解除されたものの、まだ自由な海外渡航はしばらく無理そうです。今のインバウンド観光客が少ない間に地元の良さを見直そうと、何年ぶり？いやなん 10 年ぶり？に大仏さまを拝み、平和な日々をお願いいたしました。来年は良い年になりますように！



(写真1：日本の眼科医最強女子？の集合写真
臨床眼科学会にて※許可なく掲載)



(写真2：久しぶりに拝んだ大仏さま)

講演会

第8回奈良県眼科まほろばフォーラム

2021年8月26日に、ホテル日航奈良よりライブ配信で開催されました。白内障 PART では、筑波大学眼科学教室大鹿哲郎教授に講演して頂きました。白内障手術時注意点などにつき、基本的かつ重要なポイントをわかりやすく講義頂き大変勉強になりました。また、その後の加齢黄斑変性症 PART では、関西医科大学眼科学教室眼科学教室 高橋寛二教授に講演して頂きました。数々の症例の画像データをもとに詳細に説明していただき、鑑別点など大変勉強させていただきました。明日からの診療にとっても役立つ御講演ありがとうございました。

WEB 開催

第8回奈良県眼科まほろばフォーラム

講義
時下、先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび「第8回奈良県眼科まほろばフォーラム」をWEB形式にて開催させていただきますことになりました。
ご多忙のところ恐縮ですが、ご視聴頂けましたら幸いです。 謹白
Covid-19を考慮しまして、WEB形式にて開催させていただきます。

日時：令和3年8月26日（木） 18:30～20:00
ホテル日航奈良よりLIVE配信 **【※現地開催はありません※】**

【視聴URL】
<https://livecast.gakkaitv.net/nov20210826/>

総会座長：黒田 真一郎 先生（永田眼科）

【講演Ⅰ】 18:30～19:15 ～白内障PART～
座長：緒方 奈保子 先生（奈良県立医科大学）
演者：大鹿 哲郎 先生（筑波大学）

【講演Ⅱ】 19:15～20:00 ～加齢黄斑変性症PART～
座長：西脇 弘一 先生（天理よろづ相談所病院）
演者：高橋 寛二 先生（関西医科大学）

第20回 奈良県眼科万葉フォーラム

日本眼科学会専門医制度生涯教育事業 No.23110

講義
時下、先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
下記の通り「第20回 奈良県眼科万葉フォーラム」を開催させていただきます。
ご多用とは存じますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。 謹白
奈良県立医科大学 眼科 緒方奈保子

日時 2021年9月4日（土） 16:00～18:00

Web開催 Microsoft Teams Liveによる配信

単位 2単位 ＊単位取得には事前登録が必要です（別紙参照）

会費 1000円 ＊眼科医の先生には会費として徴収させていただきます。
＊学生、コメディカルの皆様は無料です。

特別講演 一前眼部編一 16:00～17:00
座長 上田 哲生 先生 奈良県立医科大学 眼科 准教授
演題 『結膜炎の診断と治療—注意点、コツと最近の話題—』
内尾 英一 先生 福岡大学医学部 眼科 教授

特別講演 一後眼部編一 17:00～18:00
座長 緒方 奈保子 先生 奈良県立医科大学 眼科 教授
演題 『加齢黄斑変性と炎症』
石龍 鉄樹 先生 福島県立医科大学 眼科 教授

第20回奈良県眼科万葉フォーラム

2021年9月4日に、ライブ配信で開催されました。福岡大学医学部眼科 内尾英一教授には結膜炎に関して最新の知見も含めて御講演頂き大変勉強になりました。福島医科大学眼科 石龍鉄樹教授には、加齢黄斑変性と炎症について講演頂き、新たな視点で見ることができました。御講演頂きありがとうございました。WEB開催は不便を感じることもありますが、関連病院のORTさんに気軽に参加してもらえなど利点も多いので、今後も活かすことが出来ればいいと思います。

異動の御挨拶

丸岡先生が西和医療センターに、水澤先生、倉岡先生が奈良県総合医療センターに異動となりました。

丸岡 真治（奈良県西和医療センター 部長）

2021年10月より岡本先生の後任として、西和医療センターで勤務しております。部長としての苦勞もありますが、精一杯頑張るつもりです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



水澤 裕太郎（奈良県総合医療センター 医長）

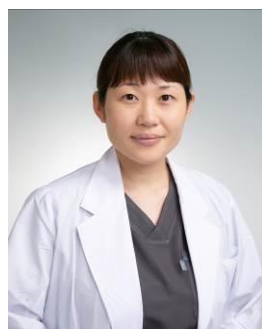
2021 年 10 月より奈良県総合医療センターで勤務することになりました。若輩者（とは言えない学年になってはきましたが、、、）ではございますが、外来、手術ともに成長できるよう精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

**倉岡 大希（奈良県総合医療センター 医員）**

2021 年 9 月より奈良県総合医療センターで勤務することになりました。諸先輩方に御指導頂き、微力ながら奈良県北部の眼科医療に貢献できるように頑張ります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

**昇進の御挨拶**

岡部先生が助教に昇進しましたので挨拶をして頂きます。

**助教 岡部直子**

2021 年 10 月より助教に昇任させて頂きました。業務の幅も広がりますが一つ一つの仕事を丁寧にこなせるよう、また教員として大学にも貢献できるよう、学生の教育はもちろん、臨床研究も頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

専門医合格の報告

岡部先生、伴先生が専門医に合格されましたので報告させていただきます。

岡部直子

この度第 33 回日本眼科専門医認定試験に合格し、眼科専門医となりました。試験直前には業務を減らして頂いたり周囲の先輩方には勉強を教えて頂いたり医局の先生方にはご迷惑をおかけすることが多々ありましたが、お陰で無事合格することができました。深く感謝しております本当にありがとうございました。改めて試験に向けてじっくりと勉強ができ、眼科に関する理解をより深めることができたことが今回とても嬉しかったです。日々の業務では今でも悩むことばかりで落ち込むことも多くありますが、これからも身を引き締めて学ぶ習慣を忘れず精進してまいりたいと思っております。

伴裕美子

第 33 回眼科専門医試験に合格いたしましたのでご報告させていただきます。

今回もコロナウイルス感染拡大の影響により前回と同様に各地で 1 日での開催となり、筆記試験と口頭試問に準じた筆記試験となりました。

試験前には多くの先生方より試験のお話やアドバイス、たくさんのご配慮をいただき、試験に向けて準備をすることが出来ました。本当にありがとうございました。久しぶりの試験ということもあり当日はかなり緊張しましたが、無事に合格することが出来、とても嬉しく思っております。まだまだ未熟者ですのでご迷惑をおかけすること多いかと存じますが、より一層精進して参りたいと思っております。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

受賞の報告

西先生が中島佐一学術研究奨励賞を受賞しましたので報告して頂きます。

西 智

第28回中島佐一学術研究奨励賞を網膜・脈絡膜構造の比較による弱視要因の解明と治療時期の検討により受賞させて頂きました。中島佐一学術研究奨励賞は、奈良県立医科大学における学術研究の中で、優れた業績をあげた若手教員に対して授与される賞で、毎年2名が受賞されています。受賞講演は2021年8月24日に行われ、web配信されました。

奈良県立医科大学において歴史ある賞を頂き、誠に光栄に感じております。日頃から御指導頂く緒方教授や、患者さんをご紹介くださる同窓会の先生方のご助力あつての賞と大変感謝しております。日常の臨床からの気づきをもとに研究して参りましたが、有難い賞を頂き、研究を評価して頂けたことを大変嬉しく思います。今後ともこの賞に恥じないよう精進して参りたいと存じます。今後とも御指導よろしくお願いいたします。



(写真：学長・病院長・医学部長との記念写真)

学会の報告

保田先生が眼循環学会に、萬代先生、倉岡先生が日本臨床眼科学会に参加されましたので報告していただきます。

保田慎之亮

2021年9月25日から26日に開催された第37回日本眼循環学会にてポスター発表をさせていただきました。新型コロナウイルス流行の影響でオンラインでの発表とはなってしまいましたが、緒方奈保子教授、上田哲生准教授をはじめとする多くの先生方のご協力のもと、無事発表を終えることができ、大変感謝しております。まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

抗VEGF薬の違いによる糖尿病黄斑浮腫治療の臨床経過の比較検討

奈良県立医科大学眼科学教室

保田 慎之亮, 上田 哲生, 緒方 奈保子

萬代恵美

2021年10月に第75回日本臨床眼科学会にて、奈良県立医科大学附属病院における最近3年間の未熟児網膜症の発症ならびに治療状況について、発表させていただきました。ハイブリッド形式での開催となった今回、現地ではなくzoomでの参加となりましたが、web上で現地の先生方と意見交換をすることができ、大変貴重な経験となりました。初めての学会発表であり緊張しましたが、緒方奈保子教授、西先生をはじめ様々な先生方のご協力のもと、無事発表を終えられたことを深く感謝しております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

奈良県立医科大学附属病院における最近3年間の未熟児網膜症の発症ならびに治療状況

萬代 恵美, 西 智, 倉石 隆弘,
水澤 裕太郎, 峯 正志, 緒方 奈保子
奈良県立医科大学眼科学教室

倉岡大希

2021 年 10 月 28 日～31 日に開催された第 75 回日本臨床眼科学会におきまして、糖尿病黄斑浮腫に対する抗 VEGF 薬硝子体注射導入時 1 回投与と連続 3 回投与の経過比較に関するポスター発表をさせて頂きました。発表に際して、緒方奈保子教授、上田哲生先生をはじめ様々な先生方よりご指導を賜りまして、大変感謝しております。昨今の情勢のためリモートでの発表となりましたが、糖尿病黄斑浮腫に関する知見を深める大変貴重な経験となりました。まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

糖尿病黄斑浮腫に対する抗 VEGF 薬硝子体注射
導入時 1 回投与と連続 3 回投与の臨床経過

奈良県立医科大学眼科教室
倉岡大希、上田哲生、和田大史、水澤裕太郎、緒方奈保子

論文掲載

吉川先生、治村先生、平井先生の論文がアクセプトされましたので、ご報告頂きます。

吉川匡宣

1, 緑内障重症度と Asymmetric dimethylarginine の関連 : LIGHT study

Association Between the Asymmetric Dimethylarginine Levels and Glaucoma Severity: A Cross-Sectional Analysis of the LIGHT Study.

Investigative Ophthalmology & Visual Science. 2021;62(4):7.

Asymmetric dimethylarginine (ADMA) は一酸化窒素合成酵素に対する強力な内因性阻害物質である。血清 ADMA が上昇することで一酸化窒素が減少し血管内皮機能が障害される。慢性腎臓病、高血圧、糖尿病患者では血清 ADMA が上昇しており、生命予後の重要な規定因子として知られている。先行研究において緑内障とこれらの全身疾患との関連が報告されており、血清 ADMA の上昇が緑内障の発症や進行に影響している可能性がある。

本報告では広義原発開放隅角緑内障患者 125 名（平均年齢 69.4 歳）の血清 ADMA 値を測定し、視野重症度と血清 ADMA との関連を横断解析した。ADMA は T1(低値群; ≤ 0.37 , $n = 38$)、T2 (中等度群; $0.38-0.41$, $n = 43$)、T3 (高値群; ≥ 0.42 , $n = 44$) の 3 分位に分類した。年齢・性・肥満・喫煙・高血圧・糖尿病・慢性腎臓病で調整した多変量ロジスティック回帰分析で ADMA の T3 群は T1 群と比較して重症緑内障（視野 Mean deviation ≤ -12 dB）と有意に関連していた（オッズ比 3.02, 95%信頼区間 1.04 から 8.79, $p = 0.043$ ）。同様に、血清 ADMA 値が高いほど重症緑内障が多かった（オッズ比 1.99, 95%信頼区間 1.05 から 3.78, $p = 0.035$ ）。

本研究の結果から緑内障重症群では血清 ADMA 値が上昇し、眼外因子として血清 ADMA が緑内障の病態生理に関与している可能性が示唆された。

2, 緑内障重症度と認知機能低下の関連 : LIGHT study

Lower Cognitive Function in Patients With Functionally and Structurally Severe Glaucoma: The LIGHT Study. *Journal of Glaucoma*. 2021;30(10):882-886.

近年、大規模疫学研究で視機能障害が認知機能へ影響を与えることが報告されている。一部相反する報告があるものの緑内障が認知機能障害と関連していることが複数の研究結果から明らかとなりつつある。しかし

Glaucoma

Association Between the Asymmetric Dimethylarginine Levels and Glaucoma Severity: A Cross-Sectional Analysis of the LIGHT Study

Tadanobu Yoshikawa,¹ Kenji Obayashi,² Kimie Miyata,¹ Keigo Saeki,² and Nahoko Ogata¹

¹Department of Ophthalmology, Nara Medical University School of Medicine, Nara, Japan
²Department of Epidemiology, Nara Medical University School of Medicine, Nara, Japan

Correspondence: Tadanobu Yoshikawa, Department of Ophthalmology, Nara Medical University, 840 Shijo-cho, Kashihara, Nara 634-8522, Japan; yoshikaw@naramed-u.ac.jp

Received: September 26, 2020
Accepted: March 9, 2021
Published: April 6, 2021

Citation: Yoshikawa T, Obayashi K, Miyata K, Saeki K, Ogata N. Association between the asymmetric dimethylarginine levels and glaucoma severity: A cross-sectional analysis of the LIGHT study. *Invest Ophthalmol Vis Sci*. 2021;62(4):7. <https://doi.org/10.1167/iov.62.4.7>

Purpose: Asymmetric dimethylarginine (ADMA), a potent endogenous inhibitor of nitric oxide synthase, may be involved in the pathophysiology of glaucoma by dysfunctioning nitric oxide and oxidative stress. The purpose of this study was to determine whether the serum ADMA level is associated with the severity of glaucoma.

Methods: One hundred twenty-five patients with glaucoma (mean age 69.4 years) were analyzed in this cross-sectional study. The severity of glaucoma was determined by the visual field mean deviation in the worse eye; severe, a mean deviation ≤ -12 dB; and mild, a mean deviation > -12 dB. The serum ADMA levels were classified into three groups according to tertiles: low (T1), intermediate (T2), and high group (T3).

Results: The mean serum ADMA levels in the severe glaucoma group was significantly higher than that in the mild glaucoma group (0.41 vs. 0.39 $\mu\text{mol/L}$, $P = 0.031$). A significantly higher prevalence of patients with severe glaucoma was found in the T3 group than that in the T1 group (T1, 44.7% and T3, 68.2%; $P = 0.018$). In the multivariable logistic regression analysis adjusted for the potential confounders, e.g., age, sex, obesity, smoking, hypertension, diabetes, and renal function, the odds ratio for severe glaucoma in the T3 group was significantly higher than that in the T1 group (odds ratio 3.02; 95% confidence interval 1.04 to 8.79; $P = 0.043$).

Conclusions: A significant association between higher serum ADMA levels and severe glaucoma was found, and this association remained significant after adjusting for the potential confounders.

Keywords: glaucoma, asymmetric dimethylarginine, nitric oxide, oxidative stress, nitric oxide synthase

緑内障重症度と認知機能の関連については不明な部分が多い。

本研究では緑内障患者 172 名（平均年齢 70.6 歳）を対象に、認知機能検査として質問票 Mini Mental State Examination (MMSE) および MMSE-blind (視機能障害者向けの MMSE) を実施し、緑内障重症度と認知機能低下の関連を横断解析した。緑内障の機能的重症度は静的視野検査の mean deviation 値、構造的重症度は光干渉断層計で測定した網膜神経線維層厚で評価した。

緑内障重症群は軽症群と比較して有意に認知機能低下 (MMSE score ≤ 26) が多かった (33.3% vs. 15.7%; $p = 0.010$)。MMSE-blind で定義した認知機能低下 (MMSE-blind score ≤ 16) においても同様の結果であった ($p = 0.003$)。年齢、body mass index、教育歴、視力、高血圧、糖尿病、うつ症状で調整した多変量ロジスティック回帰分析において、緑内障重症群は軽症群と比較して有意に認知機能低下と関連していた (オッズ比 2.62, 95%信頼区間 1.006 から 6.84, $p = 0.049$)。また網膜神経線維層厚が薄いほど認知機能低下が多かった (オッズ比 1.42, 95%信頼区間 1.05 から 1.93, $p = 0.025$)。

機能的・構造的な緑内障重症度と認知機能低下は年齢や視力などの既知の交絡因子とは独立して関連していた。

治村寛信

Case of Rapidly Expanding Conjunctival Malignant Melanoma Initially from Primary Acquired Melanosis Diagnosed 14 Years Earlier

Int Med Case Rep J. 2021 May 28;14:361-364.

原発性後天性メラノーシス (Primary Acquired Melanosis: PAM) が長期経過の後に結膜悪性黒色腫 (malignant melanoma: MM) に進展した 1 例についての Case report が International Medical Case Reports Journal に掲載されましたのでご報告させていただきます。

結膜悪性黒色腫の発生母地としては PAM with atypia が重要であると知られておりますが、今症例では 13 年前に悪性黒色腫を疑い、生検の結果 PAM without atypia と診断され経過をみていたところ、最近になり病変が急速に増大し悪性黒色腫として眼球摘出されました。病理結果は悪性黒色腫と診断、13 年前の病理切片を再度染色し検討したところ現在の基準では PAM with mild atypia と診断されました。PAM without atypia から Malignant Melanoma に進展したのではなく、mild atypia から MM に進展した症例を経験したので今回報告させていただきました。

平井宏昌

Analysis focusing on plasma von Willebrand factor in pachychoroid neovasculopathy and age-related macular degeneration.

Scientific reports 11:19987,2021

この度大学院の論文が Scientific reports 誌にアクセプトされました。論文作成にあたりましては、テーマ決めからデータ収集・解析、結果を踏まえての考察・執筆から提出後の修正等初めて経験することが多く、試行錯誤 (?) が多々ありましたが、無事終わることができました。お忙しい中、データ解析と論文作成にあたり丁寧なご指導とアドバイスを頂きました緒方教授、山下先生、輸血部の松本教授、スタッフの皆様方に心よりお礼申し上げます。日常診療で抱く疑問と臨床研究が密接に関係していることを強く実感することができ、貴重な経験となりました。またこれを日々の診療に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

開業の御挨拶

岡本先生が開業されましたのでご挨拶頂きます。

岡本全弘

令和 3 年 11 月に奈良県北葛城郡上牧町にて「西大和眼科クリニック」を開院いたしましたのでご報告させていただきます。まずは、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、医療の最前線で治療に尽力されている先生方に、心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

私は、平成 14 年に奈良県立医科大学卒業後、同大学の前嘉昭教授が主宰されていた眼科学教室に入局し、眼科学の基礎を研修いたしました。奈良県医大前教授の前嘉昭先生、前准教授の松浦豊明先生のご指導の下、基礎研究に参加し、早くから眼球の構造について学ぶ機会を与えていただきました。また、眼血流測定装置の導入により、眼血流について広い視野で学ぶ機会を与えていただき、多くの啓発を受けることができました。心より深謝いたします。また、奈良県医大 眼科学教授の緒方奈保子先生には、御就任当初から研究主旨をご理解いただき、研究の心構え、取り組み方、発表、論文作成など丁寧かつ熱心なご指導を賜りました。終始ご指導ご鞭撻を賜りましたことを心より深く感謝いたします。

長年勤務した奈良県医大から奈良県西和医療センターに平成 30 年 10 月から赴任し、基幹病院の部長という重責を担う事の大変さを痛感する中、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けました。地域の拠点病院である奈良県西和医療センターの基本理念である「照一隅」の精神をもって、今自分が置かれたその場所で最善を尽くそうと、日々の眼科診療、コロナ診療、外科系当直をこなすことで、常勤医 1 人でしたが地域医療に貢献してまいりました。

このような大学病院や基幹病院での勤務生活で培った経験を、今後は地域医療により直接的に役立てたいという思いから、生まれ育った奈良の地で眼科クリニック開業を決意しました。

これまで大変お世話になりました先生方に深くお礼を申し上げますとともに、「西大和眼科クリニック」が地域の患者様のお役にたてるよう引き続き努力していく所存です。奈良医大眼科同窓会の諸先生方には、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、開業に際してご快諾をいただきました緒方奈保子教授をはじめ、多大なお力添えをいただいた先生方にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後も微力ながら北葛城郡上牧町で地域医療に貢献できますよう精一杯頑張りたいと思います。



(写真：西和医療センター最終日 スタッフと)

今後の予定

- 2021 年 12 月 12 日（日） 奈良県立医科大学眼科勉強会（冬）
- 2022 年 5 月 21 日（土） 第 6 回 NORS の会
- 2022 年 5 月 28 日（土） 第 21 回奈良県眼科万葉フォーラム
- 2022 年 7 月 24 日（日） 奈良県立医科大学眼科勉強会（夏）
- 2022 年 8 月 25 日（木） 第 9 回奈良県眼科まほろばフォーラム
- 2022 年 9 月 10 日（土） 第 22 回奈良県眼科万葉フォーラム

感染状況を注視しながら、皆様に安心して参加していただけるように準備してまいります。

医師はもちろんのこと、研修医・ORT の皆様のご参加をお待ちしております。

詳細・最新の情報は教室ホームページをご確認ください。

外来診察表

		月	火	水	木	金
1診	午前	西	上田		緒方	手術日
	午後	小児・神経眼科外来	網膜硝子体外来	吉川 緑内障外来 ※予約のみ	網膜硝子体外来	専門外来
2診	午前	後岡	大熊（第1・3）	手術日	小林（第1・3・5）	手術日
	午後	網膜硝子体外来	小児・黄斑外来	専門外来	釜（第2・4）	専門外来
3診	午前	宮田	治村	手術日	辻中	手術日
	午後	緑内障外来	網膜硝子体外来	専門外来	角膜外来	専門外来
4診	午前	倉石	中尾	手術日	治村（第2・4・5）	手術日
	午後	倉石	中尾	専門外来	網膜硝子体外来	専門外来
5診	午前	寺田	岡部	手術日	平井	手術日
	午後	寺田	岡部	専門外来	角膜外来	専門外来
6診	午前		和田		倉石	
	午後		和田		倉石	

- ・専門外来は完全予約制です。
- ・初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・地域連携の予約は月が6名、火・木が8名、水・金は5名可能となっております。

編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターは、今回で22回目の発行となりました。ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。先生が日頃感じておられることや、趣味のお話など、どのような内容でも結構です。ご投稿、ご質問などは下記メールアドレスまでよろしくお願い致します。

tomon@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 西 智